

# 港湾

## 京都舞鶴港

京都舞鶴港は、湾口が狭く周囲が高い山で囲まれており、年間を通じ波が穏やかであることから天然の良港といわれています。こうした特徴を活かし、今日まで日本海側に面した国際港湾都市として栄えてきました。



▲最近の西港全景（近畿地方整備局舞鶴港湾事務所提供）

京都舞鶴港は、平成23年に日本海側の拠点港に選定され、その潜在能力に注目が集まる中、東アジアと関西地域をつなぐ玄関口「海の京都」としてPRし、物流だけではなく、クルーズ客船の誘致活動など本市の産業振興を推進してきました。



▲最近の東港全景（近畿地方整備局舞鶴港湾事務所提供）

## 平成26年「海フェスタ京都」を開催

海に親しむ環境づくりの推進や海への関心を喚起することを目的に、毎年、主要港湾都市で行われる「海フェスタ」を、舞鶴市を中心に、北部5市2町で開催しました。

7月19日から8月3日にかけて、

練習帆船「海王丸」や「日本丸」などの一般公開のほか、シンポジウム、京都府北部地域と海とのかかわりを紹介した企画展「海の総合展」、記念花火、サマーイルミネーションなど多彩な催しが繰り広げられました。



▲練習帆船「海王丸」のセイルドリル



▲秋篠宮同妃両殿下がご訪問

## 築港100周年を迎え 帆船「日本丸」が初寄港

平成25年に京都舞鶴港は、西港第1ふ頭が大正2年に竣工してから100周年を迎えました。この間、軍港や貿易港として栄え、今では関西圏の海の玄関口として活躍。

築港100周年の節目の年の7月26日～30日に、船を操る船員を育成する練習帆船「日本丸」が寄港しました。寄港中には、一般公開とシップスクールが実施されました。



▲巡視船「だいせん」の一般公開



▲記念式典



▲海の総合展

◀記念花火



▲シップスクール

◀日本丸

### 舞鶴国際ふ頭第2バース整備とⅡ期整備着手

令和4年、京都舞鶴港の物流機能の向上と京都府北部地域の発展に向け、舞鶴国際ふ頭の第2バース整備とⅡ期整備が着手されました。国による岸壁を延長する第2

バース（水深12m、延長210m）の整備と、京都府による護岸整備及びふ頭用地等の埋立造成（面積12ha）が行われます。



▲整備範囲等を表した写真



▲コンテナ船とバルク船（ばら積み船）が同時に着岸する舞鶴国際ふ頭



フェリーターミナルとあかしあ



昭和45年8月、舞鶴・敦賀～小樽間に「すずらん丸」が就航。市長をはじめ約2,000人の市民が出迎え、涙を浮かべて喜び人もいたという。



舞鶴・小樽間のフェリーを運営する新日本海フェリーは、昭和45年8月に第一船「すずらん丸」が就航し、令和2年で50年を迎えました。日本海特有の冬の悪天候など

課題も多く、決して順風満帆ではなかった日本海側初の長距離フェリーの航路開拓は、新日本海フェリーの熱意と舞鶴市の後押しにより実現したものでした。

### 新日本海フェリー 就航50周年

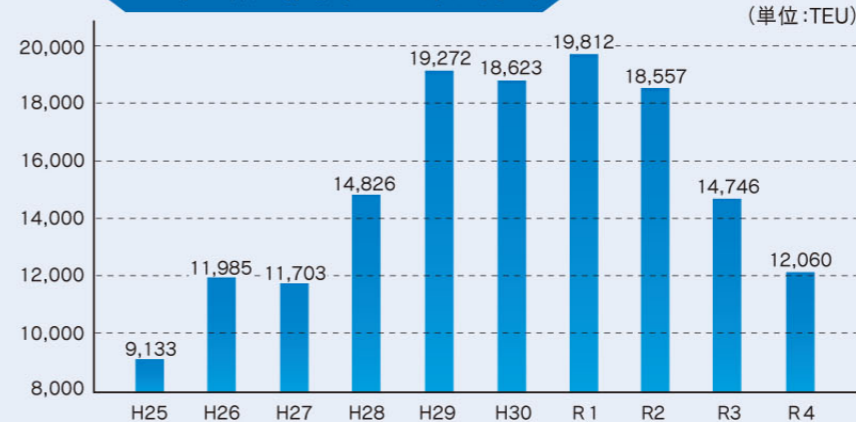
### 貨物量の大幅増加

京都舞鶴港は、国際物流ターミナル「舞鶴国際ふ頭」を中心に石炭や中古車、食料品、重機用部品などを扱っており、10年連続で1,000万トンを超えました。中でも、衣類、紙・パルプ、産業機械、食品など多種多様な貨物を詰めて運ぶコンテナ貨物の取り扱いが、令和元年に過去最高の19,812TEU（外買）を記録し、国際物流の拠点としての役割が増大しています。

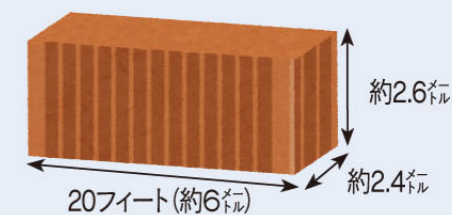


▲コンテナ船

コンテナ数の推移（空コンテナ含む）



TEU…長さ20フィートコンテナを基準(1TEU)とするコンテナの取り扱い個数の単位





### 新旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」を整備

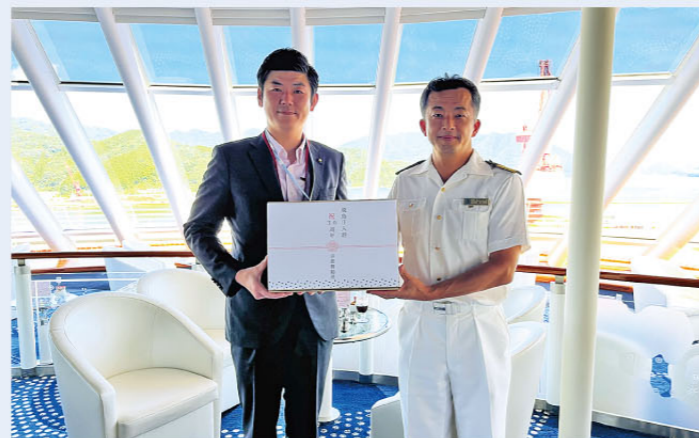
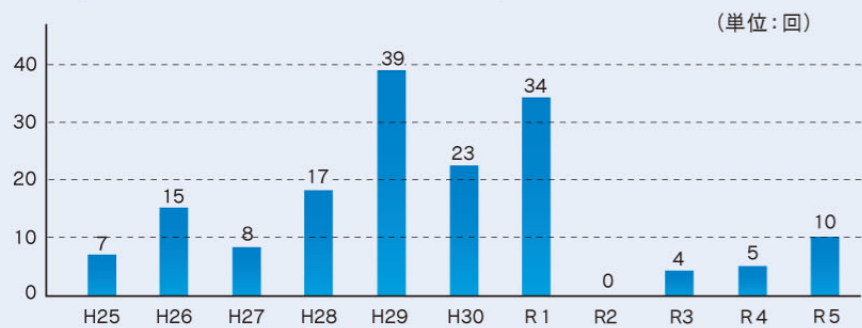
令和3年京都府では、旅客の受入機能強化を図るため、西港第2ふ頭に、貨物上屋を旅客ターミナルに改修し、新旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」の供用を開始しました。翌年には国土交通省が実施する登録制度「みなとオアシス」に、本市の西港を中心としたエリアが「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」として登録されました。

### クルーズ船コロナ対策徹底し入港

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定されていた30回の寄港は全てキャンセルとなり、日本では外国のクルーズ船の運航が中断されるなど、港の賑わいに大きな影響を与えました。

京都舞鶴港では、徹底した感染症対策を講じて、国内クルーズは令和3年4月から、国際クルーズは令和5年4月から再開されており、以前のような港の賑わいを取り戻すための取組みを進めています。

京都舞鶴港クルーズ船寄港回数



▲「飛鳥」初寄港30周年を記念して、鴨田市長より記念品を贈呈（令和5年9月「飛鳥II」寄港時）



### 京都舞鶴港がクルーズ・オブ・ザ・イヤー2013を受賞

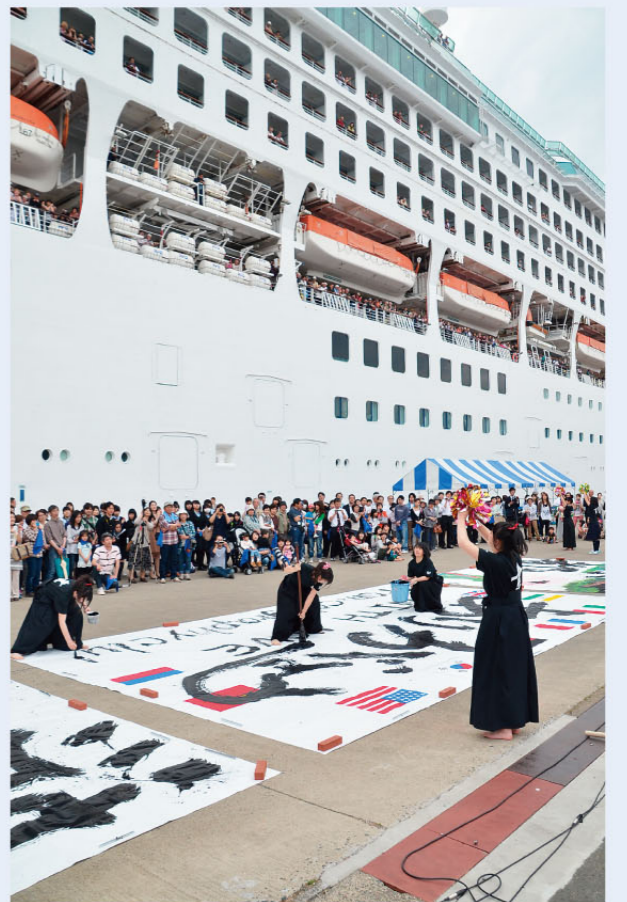
地域をあげての京都舞鶴港のおもてなしの取組みが高く評価され、「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2013」（主催：（一社）日本外航客船協会「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2013実行委員会」）の特別賞を受賞しました。



▲ツアーで田辺城を訪れるクルーズ客



▲吹奏楽の演奏でクルーズ船を見送り



▲書道パフォーマンスでおもてなし（東舞鶴高校書道部）

### クルーズ船ぞくぞく入港

京都舞鶴港では、平成25年に初めて外国クルーズ客船を受入れて以来、年間入港回数は令和元年まで順調に推移し、令和元年のクルーズ客船による来訪者は、過去最高の8万7,900人となりました。

入港時には、クルーズ客船の船内見学会やふ頭、まちなかで

のおもてなしイベント、子ども達によるお見送りを実施するほか、市内ショッピングモールによる無料シャトルバスの運行や、新たに免税店舗の許可を取得する店舗が増えるなど、地域経済に寄与しました。